

幼児期の道徳性の芽生えを培うために

～発達心理学と幼児教育の観点から～



岩立京子(東京学芸大学)

Oct.24.2008

本日の発表の要旨

I 道徳性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

II 親のかかわりは幼児期の道徳性の芽生えにどのように影響するか

III 幼児期の道徳性の芽生えを培う幼児教育・保育のアプローチ



幼児期から児童期への道徳性の芽生えを培うために何が必要か ～保育者の資質向上の観点から～

I 道徳性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

1. 道徳の発達研究における乳幼児の捉え方
2. 道徳性の芽生えの兆しはどのように現れてくるか
 - 1) 愛着 0歳～
 - 2) 行動基準の表象 18ヶ月頃～
 - 3) 基準への感受性 2歳になるまでに
 - 4) 自己理解と自己調整の発達 2歳前後～
 - 5) 道徳関連感情(共感、誇り、恥、罪)の発達 2歳半頃～

I 道徳性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

1. 道徳の発達研究における乳幼児の捉え方

古典的アプローチ

(学習理論の立場やピアジェ、コールバーグの認知発達理論等)



悪い行為に対する社会認知的判断等が測度



自己中心的、前慣習的思考家。
他者から与えられる誘因や罰に反応する自己本位なモラリスト

近年の発達研究(岩立2006)

(コチャンスカ、トンプソン他の道徳的感情、自己意識気質、心の理論など)



道徳的感情、自己統制などの行動的指標、モラルセルフなどの自己意識、気質、行動基準の表象などが測度



0歳代から他者の思考、感情、信念に非常に興味をもつ
他者志向的モラリスト



I 道徳性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

2. 道徳性の芽生えの兆しはどのように現れてくるか

親密な関係のなかでの経験が、道徳の概念、他者への協力の動機づけに寄与する。(岩立、2008)

1) 愛着 0歳～

社会的参照 生後8, 9ヶ月～

大人が示す承認・不承認の情動反応の手がかりから自分に向けられた行動への期待、基準の学びがスタートする。

しかし、まだ、応諾はむずかしい。
(Thompson, 1998)



I 道徳性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

2. 道徳性の芽生えの兆しはどのように現れてくるか

2) 行動基準の表象 18ヶ月頃～

心の理論 (theories of mind) の現れの兆し: 行為の背後にある他者の意図、欲求、感情に気づく。
(Repacholi&Gopnik,1997)



I 道徳性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

2. 道徳性の芽生えの兆しはどのように現れてくるか

3) 基準への感受性 2歳になるまでに

2歳の終わりまでに基準が破られる事(ボタンが取れている、本のページが破れている、床にゴミが落ちている、おもちゃが壊れている)に対して高い感受性を示す。→ 内的規範、モラルセンスの現れ(Kagan,1981)

1歳半の子どもが鼻に口紅がついていると恥ずかしがる
→容姿についての内的基準を反映。(Lewis,2000)



愛着対象から行動の基準を学ぶ。

0～2歳代に 日常の身体的かかわり、情動表出、言葉による基準の伝達によりプロトタイプの出来事表象を形成する。

I 道徳性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

2. 道徳性の芽生えの兆しはどのように現れてくるか

4) 自己理解と自己調整の発達 1歳後半～2歳

1歳後半から2歳代に自分が物事の原因となりうること、評価をうける存在であるという自己理解や、モラルセルフ、愛他的自己概念(「○○ちゃん(ぼく)はいい子」)の芽生え。(Kochanska,2002)

生後1年後～他者に合わせて自己の注意や欲求を活性化したり、押さえたりできる能力←Effortful control のなかでも、抑制的コントロール(Inhibitory control)(たとえば、「ダメ」と言われると、していることをすぐに止められるなど)が生後1年を過ぎた頃から急激に発達する。

(Rothbart, Ahadi, Hershey & Fisher, Eisenberg& Spinrad ,2004)

I 道德性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

2. 道德性の芽生えの兆しはどのように現れてくるか

5) 道德関連感情(共感、誇り、恥、罪)の発達

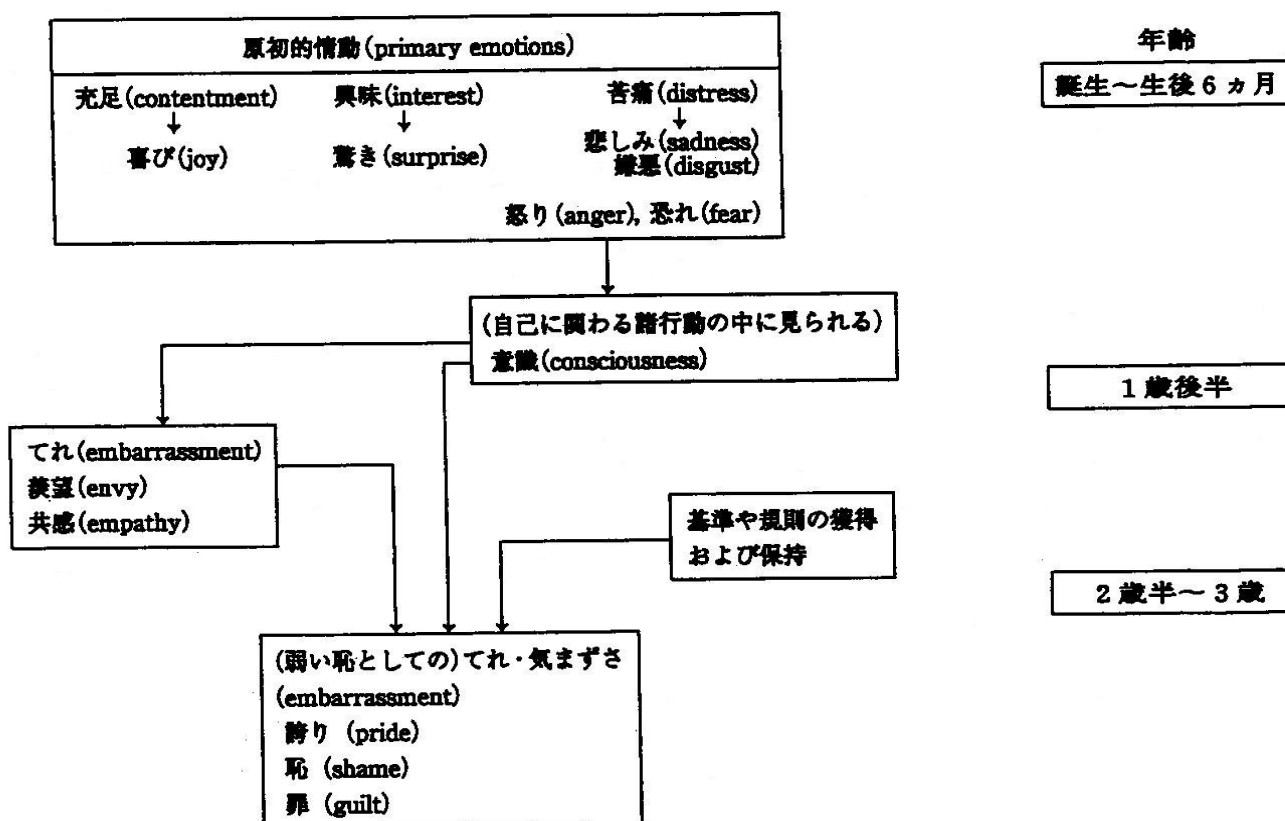


図 発達初期からの豊かな情動の芽生え (Lewis,1993を遠藤(1995)が改変)

Ⅱ 親のかかわりは幼児期の道徳性の芽生えにどのように影響するか

1. 養育態度と道徳性の芽生えの発達

- 1) ボームリンド(**Baumrind,D.1967**)
- 2) ホフマン(**Hoffman,M.L.1983**)
- 3) リコーナ(**1999**) 公正アプローチ

2. 親のしつけに関する考え方の例(1~3歳をもつ母親86名)

Ⅱ 親のかかわりは幼児期の道徳性の芽生えにどのように影響するか

1. 養育態度と道徳性の芽生えの発達

1) ボームリンド(Baumrind,D.1967)

親の育児行動の3分類(権威主義的、威厳のある、許容的) 威厳のあるかかわり→社会的責任感、協力、仲間との友好的関係、向社会的行動と関連。

2) ホフマン(Hoffman,M.L.1983)

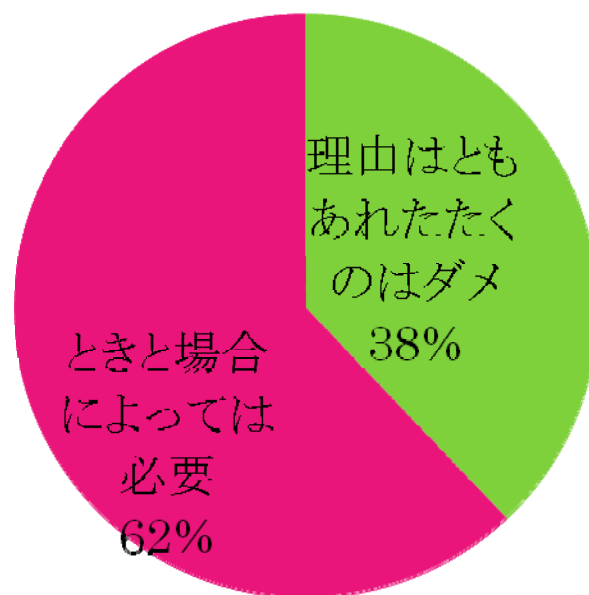
親のしつけ態度を3分類(理由づけ、力の行使、愛情の除去)理由づけが罪悪感や共感と関連。

3) リコーナ(1999) 公正アプローチ

親が専制的、独裁的になり、子どもを統制しようとする、子どもは反抗する。親が公正的であろうと努力していることを感じると、親の制約を受け入れる傾向がある。

Ⅱ 親のかかわりは幼児期の道徳性の芽生えにどのように影響するか

2. 親のしつけに関する考え方の例(1~3歳をもつ母親86名)



ベネッセ 月刊子どもを学ぶ 読者モニターアンケート(2008)
(実際に過去に数回から頻繁にたたいている人は77.8%)

Ⅲ 幼児期の道德性の芽生えを培う幼児教育 ・保育のアプローチ

学級の雰囲気と道德性の発達

DeVries & Zan, 1994

Holloway, 2000

日本の保育の特徴 (文科省特別選定 VTR)

Ⅲ 幼児期の道徳性の芽生えを培う幼児教育・保育のアプローチ

学級の雰囲気と道徳性の発達

DeVries & Zan, 1994 アメリカの幼児教育を軍隊型、コミュニティー型、工場型に分類した。コミュニティー型は子どもを尊重し、他者への肯定的な態度で問題が生じると話し合いで納得を導きながら解決する。→子どもに対する脅かしや罰がみられなかった。

Holloway, 2000 日本の幼児教育を3分類した。関係重視型、役割重視型、子ども重視型。子ども重視型は柔軟な創成カリキュラムで、子どもの発達の足場作りをする。日本の幼児教育の多様性について論じた。

➡ 日本が目指す幼児教育はコミュニティー型、子ども重視型と共通部分があり、子どもを尊重し、**遊びや生活体験を通した総合的指導、環境による教育**を行うとともに今日的課題に対処する。例 VTR 葛藤や対立への対処、協同的問題解決場面

まとめ

I 道徳性の芽生えはいつ頃、どのようにみられてくるか

0, 1, 2歳代に安定した愛着関係、自己意識、気質、自己調整力などの道徳性の芽生えの基礎がつけられる。

II 親のかかわりは幼児期の道徳性の芽生えにどのように影響するか

愛着対象との関係性は道徳性の芽生えを培うために極めて重要。親子のかかわりから道徳的価値やルールを理解していくから。

III 幼児期の道徳性の芽生えを培う幼児教育・保育のアプローチ

子ども中心、構成主義的アプローチ。遊び中心の質の高い保育が望まれる。家庭との連携、保護者の子育てへの支援が不可欠。

幼児期の道徳性の確かな芽生えを培うために何が必要か ～保育者の資質向上の観点から～

<価値やルールの内化を促進するために>

1. 保育・教育の質の向上

遊びや生活のなかの生き生きとした関係的、情動的、認知的体験を通しての総合的な指導の推進

2. 保育者の資質向上

1) 多様な子どもの援助と、その保護者への専門的支援

2) 家庭との連携をより一層、推進する

乳幼児期の道徳性の芽生えの理解と親の子育て、しつけのあり方の理解、その支援をするための資質・専門性の形成

3. 保育者養成・研修メンタリングシステム(養成期～研修期)の開発・実践

メンターには免許更新制の単位とするなどのインセンティブ

4. 保育者のための保育・教育相談システムの開発

<引用文献>

- 1) **Baumrind, D. 1967** Child care practice anteceding three patterns of preschool behavior. *Genetic Psychology Monograph*, **75**, pp.43-88.
- 2) **DeVries, R. & Zan B. 1994** *Moral Classrooms, Moral Children: Creating a Constructivist Atmosphere in Early Education*, Teacher College Press, Columbia University.
- 3) **Eisenberg, N. & Spinrad, T.L. 2004** Emotion-Related Regulation: Sharpening the Definition, *Child Development*, **75**, pp.334-339.
- 4) **遠藤利彦 1995** 乳幼児期における情動の発達とはたらき 麻生武・内田伸子編 人生の旅立ち:胎児・乳児・幼児前期 講座発達心理学2 金子書房、pp.129-162.
- 5) **Hoffman, M.L. 1983** Affective and cognitive processes in moral internalization, Higgins, E.T., Ruble, D. & Hartup, W.(Eds.) *Social cognition and social development: A socio-cultural perspective*, Cambridge University Press, pp.236-274.
- 6) **Holloway, S.D. 2000** *Contested Childhood Diversity and Change in Japanese Preschools*. Routledge.
- 7) **岩立京子 2006** 4章 道德性の芽生えに関する研究・実践の動向 小田豊・押谷由夫編著 『保育と道德』 保育出版社、pp.50-54.
- 8) **岩立京子 2008** 規範意識の芽生えを培う、初等教育資料、**837**、pp.90-96.
- 9) **岩立京子監修 2008** ベネッセ 特集 たたいてもいいの？ たたいちゃだめなの？ 月刊子どもを学ぶ pp.8-15.

- 10)Kagan,J. 1981** The second year: The emergence of self-awareness. Cambridge, MA.: Harvard University Press.
- 11)Kochanska,G. 2002** Committed compliance, moral self, and internalization: A mediated model. *Developmental Psychology*,**38**,pp339-351.
- 12)Lewis, M. 2000** Self-conscious emotions: Embarrassment,pride,shame,and guilt. In M.Lewis & J.M.Haviland-Jones(Eds), *Handbook of emotions*,pp563-573.New York:Guilford.
- 13)Repacholi,B.M., Gopnik, A. 1997** Early reasoning about desires: Evidence from 14-and 18-month olds. *Developmental Psychology*,**33**,pp12-21.
- 14)Rothbart, M.K., Ahadi,S.A. Hershey, K.L. & Fisher, P 2001** Investigations of Temperament at Three to Seven Years: The Childrens's Behavior Questionnaire, *Child Development*, **72**, pp.1394-1408.
- 15)トーマス・リコーナ 1999** 子育て入門 一道徳的自立を目指して一 三浦正訳慶応大学出版会 Lickona T. 1983 *Raising Good Children*, Robin Straus Agency Inc,.New York.
- 16)Thompson,R.A. 1998** Early sociopersonality development. In JW.Damon (Ed.)& N.Eisenberg,(Vol.Ed.) , *Handbook of child psychology*. Vol.3: Social , emotional, and personality development.(The ed.,pp25-104). New York: Wiley.